

## 6. 指導医選定委員会

委員長 和田 洋 巳

### 1. 平成 20 年度指導医選定業務について

5月30日に申請を締め切ったところ(第108回定期学術集会の開催が5月であったため)、459名からの申請があった。このうち1名から申請取り下げの申し出があり、6名がオンラインによる申請登録は行ったが、申請書そのものを提出しなかった。したがって、審査対象者は452名であった。所定の手続きを経て8月19日付文書で開催した持ち回り委員会にて、慎重かつ公正に審議を行った結果、業績の条件を満たしていなかった7名を不合格とし、445名を合格と判定した。この結果は理事会で承認されたので、合格者氏名は雑誌第109巻第6号に公表した。

### 2. 平成 20 年度指導医更新選定業務について

例年通り取得から5年が経過した指導医の更新選定業務を行った。本年度の対象者は平成15年度に新規認定により取得、または更新認定により取得した994名であった。選定申請と同じく5月30日に申請を締め切ったところ、835名からの申請があった。このうち6名から申請取り下げの申し出があり、29名がオンラインによる申請登録は行ったが、申請書そのものを提出しなかった。したがって、審査対象者は800名であった。審査の結果、研修実績が不足している理由から1名、申請時の施設が条件を満たしていなかった1名を不合格とし、798名の更新を認めた。この結果は理事会で承認されたので、更新者氏名は雑誌第109巻第6号に公表した。

## 7. 医学用語委員会

委員長 寺 本 龍 生

### 1. 外科学用語集について

2003年5月に過去発刊してきた「外科的手術用語集」「外科的疾患用語集」「外科略語集」を1冊にまとめ「外科学用語集」を発刊しており、収録された用語数は英和約7,800語、和英約8,500語、略語約1,600語であり、産婦人科、整形外科、形成外科など周辺領域の用語も取り入れている。

### 2. 外科学用語集 Web 版について

本会ホームページにて外科学用語集のWeb版を公開している。

利用状況は、毎月平均で1,400件程度のアクセスがあり、一人あたり平均8ページを閲覧している。

### 3. 日本医学用語辞典について

本委員会では、日本医学会より発刊されている「日本医学用語辞典」の編集も関与し、用語のチェックも行っている。

### Ⅲ. 研究

## 8. 邦文誌編集委員会

委員長 田 林 暁 一

### 邦文誌（日本外科学会雑誌）について

日本外科学会雑誌は、年間9巻（通常号6巻，臨時増刊号3巻）発行している。

1巻あたりの制作部数は約38,500部であり、今年度は第110巻第2号及び臨時増刊号(2)の抄録号を会員に配付した。

本誌の充実をめざして邦文誌編集委員会を4カ月に1度開催している。

### 邦文誌の内容

#### 1. 会員より原稿を募る

症例報告，研究速報，総説，随筆，提言，学会出席者の感想文，私の療養体験，会員の近況報告，私の作品（写真，絵，短歌，俳句など）

#### 2. 原稿依頼

- a. 特集（第98巻第8号より編集委員により企画）
- b. 外科学会会員のための企画（会員に役立つような内容を企画）  
毎号，「医療訴訟事例」を掲載している
- c. Editorial（編集委員が執筆）
- d. 手術の tips and pitfalls
- e. 卒後教育セミナーの講演要旨（第48回卒後教育セミナーより掲載）
- f. 特別寄稿（現在話題となっている内容を依頼）

#### 3. 掲載料金

- a. 総説，症例報告5万円
- b. 研究速報3万円
- c. 随筆，提言，学会出席者の感想文，私の療養体験，会員の近況報告，私の作品（写真，絵，短歌，俳句など）無料。枚数超過の場合は1万円
- d. 学会・研究会案内1/3頁2万円

#### 4. 依頼原稿執筆料

会員は5万円，非会員は10万円。（特集の前文や Editorial を執筆する編集委員は無料）

なお，本誌の Quality を向上させるため英文抄録の Check を第99巻第1号より Ms. シンシア氏に1編2,250円にて依頼している。

## 9. 英文誌編集委員会

委員長 前原 喜彦

### 英文誌 (Surgery Today) について

本誌は、年間 12 冊、電子ジャーナルを含めて約 40,000 部を発行している。平成 20 年度中に 1,104 (↑152) 編の投稿原稿があった。同年発行の第 38 巻には 231 編が掲載され、平成 20 年度の採用率は 20.9% であった。

昨年度より投稿から採否決定までの期間が平均 2 ヶ月へ、また掲載までの期間は平均 11 ヶ月となっている。

編集委員による Review 執筆などの努力により Impact factor も徐々に上昇し、最新のものでは 0.718 (↑0.039) となっている。

### 引用文献について

過去 4 年前からの被引用論文数を調査したところ、Vol. 34 は 26・Vol. 35 は 24・Vol. 36 は 28・Vol. 37 は 74・Vol. 38 は 109 となっている。

これらの結果から、更なる Impact factor の上昇を目指すには、Review・Original の掲載数および被引用回数の増加が必須との見解から代議員に Review の執筆依頼をさせていただいた結果、78 名から執筆をいただけることとなった。

代議員の先生方には、教室の先生方が投稿される際には、本誌を引用いただくよう是非お願いしたい。平成 18 年度研究助成委員会が廃止され、本委員会が研究奨励賞の授賞者選定を引き継ぎ行うこととなった。そして本年度授賞者を下記の如く決定させていただいた。

最後に投稿原稿数の増加とともに編集委員並びに代議員の負担も年々大きくなっており、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

### 第 15 回研究奨励賞授賞者 5 名

板橋 道朗 (東京女子医科大学第二外科)

Effectiveness of leukocytapheresis in suppressing the occurrence of surgical site infections following surgery for ulcerative colitis 38: 609—617

Xuan-Chao Pan (東京大学大学院医学系研究科肝胆膵外科・人工臓器移植外科)

Further study of anti-ICOS immunotherapy for rat cardiac allograft rejection 38: 815—825

濱武 基陽 (九州大学大学院消化器・総合外科)

Intratatumoral expression of macrophage migration inhibitory factor is correlated with serum C-reactive protein and interleukin-6 in patients with non-small cell lung cancer 38: 921—925

土井隆一郎 (京都大学医学研究科外科学講座肝胆膵・移植外科学)

Surgery versus radiochemotherapy for resectable locally invasive pancreatic cancer: Final results of a randomized multi-institutional trial 38: 1021—1028

真栄城兼誉 (久留米大学病院外科学講座 1)

Changes in A-type natriuretic peptide and its receptors induced by a neutral endopeptidase inhibitor in a rat model of sepsis 38: 130—134

## 掲載原稿種別表

年次	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
巻数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
投稿数	119	102	142	164	131	151	179	197	208	275	268	322	339
掲載数	95	89	83	76	87	119	116	119	120	107	206	222	211
採用率 (%)	79.8	87.3	58.5	46.3	66.4	78.8	64.8	60.4	57.7	38.9	76.9	68.9	62.2
Editorial	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Review	5	4	12	4	6	5	7	6	1	7	1	5	5
Original	75	77	50	44	47	71	59	67	67	59	107	106	101
Case Report	0	0	12	19	25	33	44	38	47	37	89	93	88
Short Communication	10	5	7	9	6	6	2	7	5	3	7	8	5
How to do it	3	3	1	0	3	4	1	1	0	1	2	10	12
Others	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
Impact Factor								0.21	0.223	0.188	0.163	0.118	0.171

年次	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08
巻数	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
投稿数	419	443	429	438	424	509	607	667	623	566	930	947	1104
掲載数	212	245	281	271	239	247	243	214	238	216	231	235	231
採用率 (%)	50.5	55.3	65.5	61.9	56.4	48.5	40.0	32.1	43.9	38.2	24.8	24.8	20.9
Editorial	0	7	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Review	3	2	1	1	4	2	3	0	8	13	5	10	11
Original	82	120	102	100	97	86	88	76	102	102	102	75	85
Case Report	99	97	152	145	129	142	146	134	113	91	109	137	120
Short Communication	9	9	6	9	2	6	2	2	2	1	1	2	6
How to do it	7	10	11	14	7	11	4	2	13	8	10	10	5
Others	12	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	1	3
Impact Factor	0.209	0.233	0.303	0.379	0.356	0.480	0.501	0.528	0.553	0.478	0.698	0.679	0.718

### 投稿数内訳

Original		145	171	149	166	196	222	174	146	232	264	297
Others		284	267	275	343	411	445	449	420	671	683	807

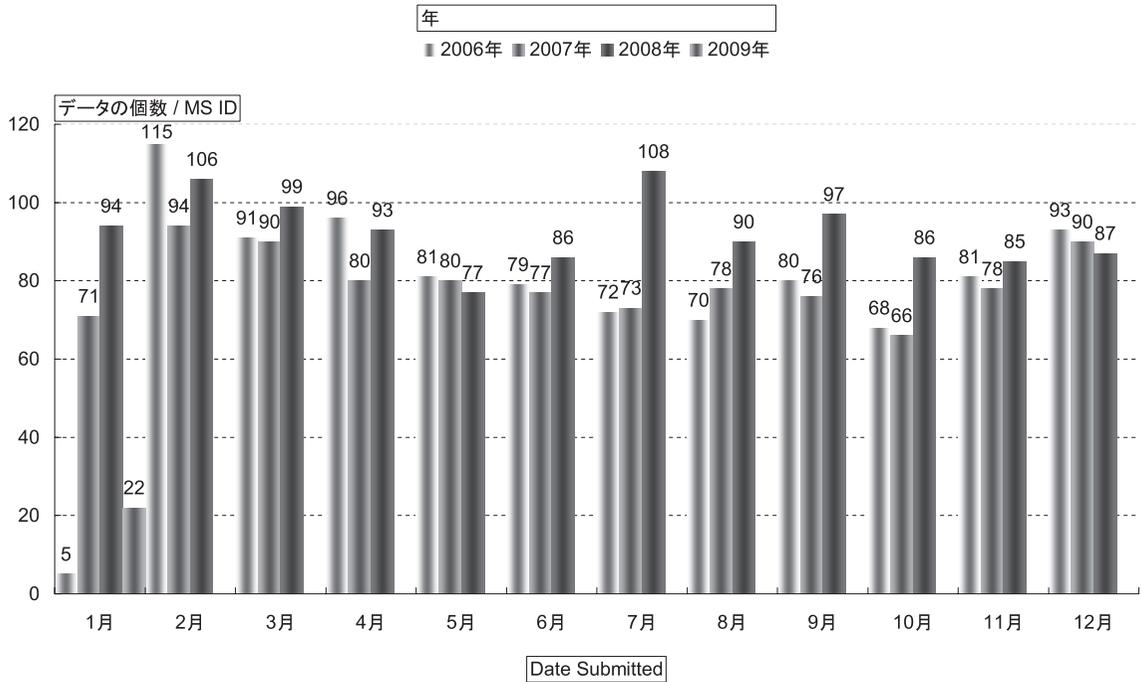
年次		03	04	05	06	07	08
投稿数		667	623	566	930	947	1104
部門別掲載数	脳神経	0	0	0	0	1	3
	内分泌 (含乳腺)	19	19	22	19	19	30
	心	16	16	15	16	16	13
	肺	14	26	21	23	24	32
	血管	16	35	24	21	30	18
	消化器	116	94	86	99	119	96
	移植	4	3	8	0	1	9
	小児外科	7	13	6	7	11	5
	一般その他	25	32	34	46	14	25
掲載数	217	238	216	231	235	231	

## 3. 国別投稿数

Country	2007 年							2008 年						
	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率	集計	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率	集計
Japan	147	186	1	28		44.1	362	122	208	44	53	2	37.0	429
Turkey	23	134	2	4		14.6	163	14	138	7	6		9.2	165
Italy	7	54				11.5	61	4	54	4			6.9	62
China	5	33		1	1	13.2	40	7	63	4	2		10.0	76
Taiwan, Province of China	4	43		1		8.5	48	4	42	2			8.7	48
Greece	4	34				10.5	38	2	38	4	1		5.0	45
India	3	34		3		8.1	40	1	29	1	1		3.3	32
United States	8	15	1			34.8	24	10	32	3			23.8	45
Korea, Republic of	4	15		1		21.1	20	5	38	1	2		11.6	46
United Kingdom	3	14		1		17.6	18	1	19	2	1		5.0	23
Germany	4	7		1		36.4	12	4	11				26.7	15
Spain	2	14		1		12.5	17	2	8				20.0	10
Brazil		12				0.0	12		9				0.0	9
Iran, Islamic Republic of	1	10				9.1	11	1	9				10.0	10
Croatia	1	5				16.7	6	1	7				12.5	8
France	1	8				11.1	9		4		1		0.0	5
Serbia	1	8				11.1	9		3		1		0.0	4
Israel	1	5				16.7	6	1	4				20.0	5
Netherlands	1	4				20.0	5		5	1			0.0	6
Poland	2	3				40.0	5		4		2		0.0	6
Chile	3	3				50.0	6		2				0.0	2
Thailand		5				0.0	5	1	2				33.3	3
Jamaica		3				0.0	3		3				0.0	3
Malaysia		4				0.0	4		2				0.0	2
Mexico		3				0.0	3		3				0.0	3
Nepal	1	4				20.0	5							
Switzerland								1	4				20.0	5
Canada									4				0.0	4
Egypt		1				0.0	1		3				0.0	3
Hungary		2				0.0	2		2				0.0	2
Morocco								1	2	1			33.3	4
Austria		1				0.0	1		2				0.0	2
Bulgaria	1	1				50.0	2		1				0.0	1
Denmark		1				0.0	1		1	1			0.0	2
Jordan		1				0.0	1		2				0.0	2
Australia									2				0.0	2
Brunei Darussalam								1	1				50.0	2
Czech Republic	1					100.0	1		1				0.0	1

Country	2007 年							2008 年						
	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率	集計	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率	集計
Hong Kong									2				0.0	2
Korea, Democratic People's Republic of		1				0.0	1		1				0.0	1
Nigeria									2				0.0	2
Portugal		1				0.0	1		1				0.0	1
Saudi Arabia		1				0.0	1		1				0.0	1
Singapore	1					100.0	1	1					100.0	1
Slovakia		1				0.0	1		1				0.0	1
Sudan									2				0.0	2
Tunisia		2				0.0	2							
Bangladesh									1				0.0	1
Ireland									1				0.0	1
Kuwait				1			1							
Lithuania									1				0.0	1
Moldova		1				0.0	1							
Pakistan		1				0.0	1							
Slovenia				1			1							
South Africa									1				0.0	1
Sri Lanka									1				0.0	1
United Arab Emirates				1			1							
総計	229	675	4	44	1		953	184	777	75	70	2		1108

#### 4. 月別投稿数の推移



## 10. 臨床研究推進委員会

委員長 前原 喜彦

委員会を7月7日、10月23日に開催し、臨床研究セミナーを計画するとともに、外科領域においてエビデンスに基づいた医療を実践すべく臨床研究を検討し、平成21年度厚生労働科学研究費補助金(研究課題「初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同ランダム化並行群間比較試験」)に申請した。なお、本委員会が推奨した臨床研究が平成20年度厚生労働科学研究費補助金(研究課題「消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行群間無作為比較試験」)に採用され、9月9日、2月3日に開催し、検討中であり、平成21年度も継続となる。

また、外科臨床研究の利益相反に関する指針案を作成し、12月24日締切りで予め代議員、名誉会長及び名誉会員並びに特別会員各位の検討後、2月27日締切りで会員に対してパブリックコメント(後出)を募集した。指針として周知徹底した後、来年の通常総会において規則案を上程させていただく予定である。

下記の如く臨床研究セミナーを4月3日に開催予定である。

### 第7回臨床研究セミナー

日時：平成21年4月3日(金) 8:00~11:00

(第109回日本外科学会定期学術集会2日目)

場所：福岡国際会議場 4F 第8会場

#### 【プログラム】

開会の挨拶 前原 喜彦 九州大学消化器・総合外科  
(臨床研究推進委員会委員長)

#### 第1部 臨床研究の基礎講座

座長：竹内 正弘 北里大学薬学部臨床統計部門

赤澤 宏平 新潟大学医療情報部

1：臨床研究における研究デザインの統計学的留意点

森田 智視 横浜市立大学臨床統計学・疫学分野

2：臨床試験の推進・管理及びのデータマネージメント

一木 龍彦 イーピーエス株式会社

3：厚生労働省「臨床試験に関する倫理指針」の改正について

前原 喜彦 厚生労働省 臨床研究の倫理指針に関する専門委員会委員

#### 第2部 外科臨床研究の実践

座長：小林 道也 高知大学医学部医療学講座医療管理学分野

土岐祐一郎 大阪大学大学院消化器外科

わが国における臨床試験の現状

1：外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同無作為化第II相試験

掛地 吉弘 九州大学大学院消化器・総合外科

2：肺癌における臨床研究

一瀬 幸人 国立病院機構 九州がんセンター呼吸器部外科

3：膵癌における臨床研究

- 特別発言  
閉会の挨拶
- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 山上 裕機 | 和歌山県立医科大学第二外科              |
| 北村惣一郎 | 国立循環器病センター                 |
| 和田 洋巳 | 澁志会学術顧問<br>(臨床研究推進委員会副委員長) |